

紫斑病の防除を適期に2回行いましょう！



産米改良協会 採種情報ページ

開花時期を確認しながら計画的な作業を

1 降雨後の停滞水の速やかな排水

7月中旬以降、長雨や大雨にみまわれており、ほ場での停滞水が多くみられている。排水不良により、黒根腐病や茎疫病が発生するリスクがあるため、速やかに排水する。

2 開花期追肥

水田転換初年目畑や地力の高いほ場では必要ないが、長期にわたり大豆の連作を行っているほ場(土壌や根粒からの窒素供給力の低下が著しいほ場)や湿害により生育不良となったほ場では、窒素追肥効果が認められている。

追肥は、開花期(開花期～開花後10日頃)に硫酸または尿素を用い、窒素成分で10a当たり5～10kg施用する。

3 開花期以降の土壌水分の保持

大豆は、開花～子実肥大期にかけて水分を多く必要とし、乾燥が続くと減収することがあるため、次により好適な地下水位(40cm程度)の保持に努める。

なお、著しい高温少雨に遭遇した場合、十分な用水量が確保でき、速やかな排水が行えるほ場など実施可能な条件に限られるため、ほ場条件を確認した上で実施を検討する。

(1) 梅雨明け後の暗きよの操作

梅雨明け後は、暗きよ栓を閉めて土壌中の水分の保持に努める。ただし、まとまった降雨がある場合は、暗きよ栓を開いて排水を図る。

(2) 地下かんがいシステムが備わっているほ場の場合

梅雨明け後は、暗きよ栓を閉めて地下水位を40cmに設定し、降雨を土壌に貯留するように努める。地下かんがいは、晴天が1週間以上続き土が白く乾燥している場合や、日中に大豆の葉が立ち、半分以上の葉で裏面が見える等を目安に実施する。この時の地下水位は、20～30cm程度に設定し、1日給水した後、暗きよ栓を開放して排水する。

(3) 畝間かん水の目安と留意点

晴天が1週間以上続き土が白く乾燥している場合や日中に大豆の葉が立ち、半分以上の葉で裏面が見える等を目安に実施する。30a以上の大きなほ場の場合は、ほ場を2～3区画程度に分け、1日1区画ずつ2～3日に分けて実施し、畝の崩壊と水口付近の湿害を防ぐ。ほ場(区画)全体に水が行き渡ったら水口をしっかり止め、速やかに排水する。また、かん水は、気温・地温が低下する朝夕の時間帯に行う。

なお、水回りが悪いほ場や、速やかな排水を行えないほ場では、湿害等が発生することがあるため実施しない。

4 病害虫防除

今年は生育が進んでおり、**開花期が平年より早まっていると考えられるので、作業準備を早めに行うとともに、ほ場内を注意深く観察し、防除適期を見極めて確実に防除を行う。**

＜参考＞ 品種の開花期の平年値 表-1

播種日	リュウホウ	あきたみどり
5月25日	7月23日	7月26日
6月4日	7月27日	—
6月19日	8月3日	—

※ 秋田農試の奨励品種決定調査における平年値

○ 紫斑病

確実に2回行う。開花期に応じて次のパターンにより防除する。

○ カメムシ類・マメシクイガ

開花期に応じて2～3回防除を行う。

＜紫斑病・カメムシ類・マメシクイガの防除パターン＞

表-2

開花が7月下旬より	防除体系	防除時期と散布剤		
		開花期20日後	8月下旬	9月上旬
早い場合	地上防除	A剤	C、E剤	E剤
	無人航空機	B	D、F	G
遅い場合	地上防除		A、E	C、E
	無人航空機		B、F	G、D

＜表-2の防除パターンの薬剤及び施用量＞

表-3

剤	薬剤名	施用量	適応病害
A	プランダム乳剤25	3,000倍液 150～300ℓ/10a	紫斑病
B	プランダム乳剤25	16～24倍液 800ml/10a	紫斑病
C	ジマンダイセン水和剤 か ペンコゼブ水和剤	400倍液 150～300ℓ/10a	紫斑病
D	ニマイバー水和剤	8～16倍液 800ml/10a	紫斑病
E	パーマチオン水和剤	2,000～3,000倍液150～300ℓ/10a	カメムシ類・マメシクイガ
F	スミチオン乳剤、トレボンIA7-、トレボンスカイMC のいずれか	8倍液 800ml/10a	カメムシ類・マメシクイガ
G	プレバソンフロアブル5	16倍液 800ml/10a	マメシクイガ

5 気象情報

○ 気象庁の1か月予報(7/27～8/26)によると

- ・ 暖かい空気に覆われやすいため、気温は高い見込み。
- ・ 降水量は平年並みか多く、日照時間はほぼ平年並みとなっている。

6 病害虫の発生予察情報

○ 秋田県病害虫防除所が7月30日発表した8月の主な病害発生予報は次のとおり。

病害虫名	時期	感染・発生量
紫斑病	感染：やや早い	感染：多い
吸実性カメムシ類	発生：早い(前年より早い)	発生：やや多い (前年よりやや少ない)
マメシクイガ	発生：平年並み(前年並)	発生：多い(前年より多い)